

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	63 -	事業名	長生学園事業	担当部課	福祉部長寿課
------	------	-----	--------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人といきいきつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	款	3	民生費
		施策の進め方	3	地域活動へ参加しやすい環境整備づくり	項	1	社会福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	目	2	老人福祉費
		政策分類	-		大事業	8	長生学園事業
	その他(関係法令、要綱等)	長生学園長久手温泉事業実行委員会設置要綱					
事業開始の背景、経緯等	高齢者が地域で安心して暮らし、生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、自ら進んで地域に参加し、高齢者同士のつながりを強化するための機会の提供をする。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 年1回、長島温泉へバスで日帰り旅行をし、食事・入浴・ショーを楽しみつつ、高齢者同士の親睦を深める。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) おおむね60歳以上の方					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者が地域で安心して暮らせるよう、自ら進んで地域に参加し、高齢者同士のつながりを強化する。					
	事業を構成する事務事業	① 長生学園事業	改善・見直し	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		1,723	1,961	1,912
決算					1,783	1,810	1,967	
人件費(B)	千円	決算		—	2,291	2,995		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		—	4,101	4,962		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 参加者数	人	目標	400	400	400	400	400
			実績	405	391	408	371	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長生学園長島温泉参加者数(前年度実績を元に目標を設定)								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成25年度より実行委員会形式で事業を行っている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成29年度を除き、概ね参加者が目標に達している。開催時期により参加者数の増減がある。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 平成25年度より実行委員会形式で行っているが、市の事務局が行う事務が多い。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民主体の事業としていくために、実行委員会が中心となって事業を行うようにしていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 事業全体を社会福祉協議会(シニアクラブ事務局)に移管。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		長生学園事業										
番号	①	事務事業名	長生学園事業		款	3	項	1	目	2	大事業	8	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成3年度		終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	対象：概ね60歳以上の方 手段：年1回、長島温泉へバスで日帰り旅行をする。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者が地域で安心して暮らせるよう、自らが進んで地域に参加し、高齢者同士のつながりを強化するための機会の提供。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		1,723	1,961	1,912	1,912
		決算		1,783	1,810	1,967	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①		日帰り親睦研修業務委託				1,876	千円
②		実行委員謝礼				91	千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
参加者数	人	目標	400	410	410	400	400
		実績	405	391	408	371	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
概ね60歳以上の方を対象に年1回長島温泉にバスで日帰り旅行をした。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

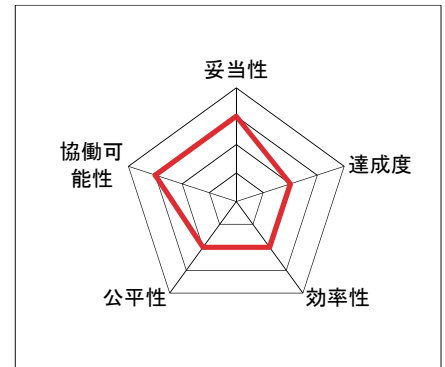
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成25年度より実行委員会形式で事業を行っている。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
移動手段がないことにより閉じこもりがちな高齢者の外出意欲を促す。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
参加者が限定されているため、広く参加を呼びかける必要がある。実行委員会形式で事業を行っているが、市の事務局が行う事務が多い。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
市民主体の事業として実行委員会が中心となって行っていくようにし、シニアクラブ事務局に事務を移管する。